

CONTENTS

第37巻 第2号 2010

原 著

- Skipping Breakfast is Associated with Poor Vegetable Intake
Among College Students in Japan Hiroko Fujii et al... (47)
- エンドトキシン中耳腔投与による内耳の出血部位..... 中島規幸... (55)
- 裂孔原性網膜剥離に対する術式選択..... 伊藤竜成 他... (63)
- 酸化ストレス度および抗酸化力測定による突発性難聴の予後推測..... 大出茂典... (69)
- 試験におけるヒューマンエラーの予防対策について..... 一杉正仁 他... (77)
- 未治療増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術の長期成績..... 浅井将之 他... (83)
- 人間ドック受診者における慢性腎臓病と関係する因子の検討..... 大野絵里 他... (89)
- マイクロウェーブ固定で観察した鼻アレルギー鼻粘膜中の好酸球..... 廣瀬 壯... (97)
- 後鼻孔鼻茸の巨大化とリンパ管分布密度について..... 池田洋子... (103)
- 小児滲出性中耳炎治療のための適切な鼓膜チューブ挿入期間の検討..... 山口晋太郎... (111)

症例報告

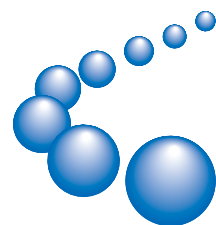
- A Case of Pulmonary Benign Metastasizing Leiomyoma Occurring
after Uterine Myomectomy Yasutsugu Fukushima et al... (119)
- Lennox-Gastaut Syndrome Associated with
Unilateral Hemispheric Porencephaly..... George Imataka et al... (125)
- Image Analysis with the Brain Easy Analysis Tool (BEAT) Method in Cases of
Encephalomalacia Following Shaken Baby Syndrome George Imataka et al... (129)
- インドシアニングリーン内境界膜剥離を併用した黄斑疾患術後に
網膜障害を生じた4例 武藤哲也 他... (133)

短 報

- Evaluation of Chargaff's Parity Rules Using Simulation Analysis..... Yoshifumi Ebara et al... (139)

会 報

- 第37回獨協医学会 (143)
- 平成21年度獨協医学会評議員会 (167)



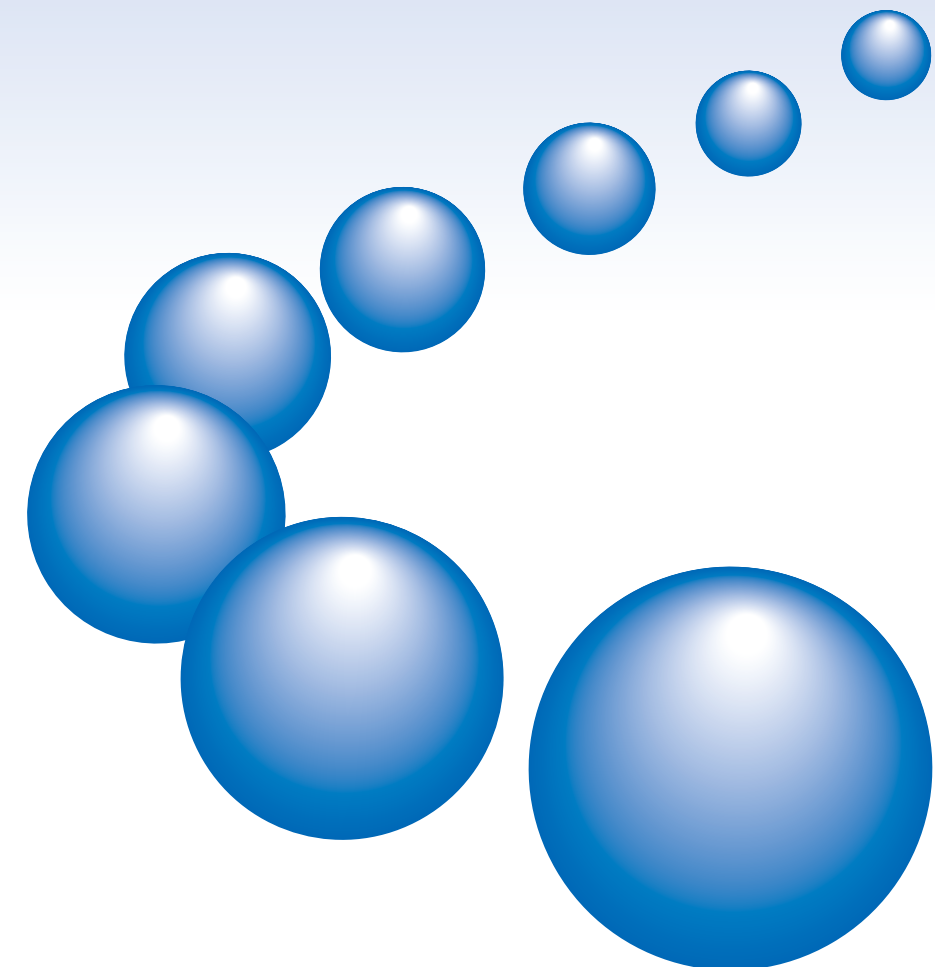
Dokkyo Medical Society
Dokkyo Medical University
Mibu, Tochigi, 321-0293 Japan

DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES

Vol.37, No.2 (47~172) July 2010

DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES

Vol.37, No.2, July 2010



獨協医学会雑誌



- I. 本誌の投稿論文は、和文または英文で、その内容が他誌に投稿中または掲載されていないものに限る。投稿に際して著者は、二重投稿でない旨を記した誓約書にサイン・捺印し、添付する。人体を対象とした研究では、ヘルシンキ宣言について述べられているように、科学のおよび倫理的規範に準じていなければならない。被験者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意志に基づく同意（インフォームドコンセント）取得と記載が必要である。動物を対象とした研究では、動物愛護の立場から適切な実験計画を立て、全実験期間を通じて飼養および保管に配慮した旨の記載が必要である。
- II. 投稿者は獨協医学会会員に限る。
- III. 投稿論文は複数のレフリーによる査読を経た後に、その採否、掲載順序などを編集委員会によって決定する。掲載後の全ての資料の著作権は編集委員会に属し、他誌への無断掲載は認めない。
- IV. 原稿は次の形式とする。
- (1) 原著 (2) 症例報告 (3) 短報 (4) 総説
 - (5) 通信 (6) 学位申請論文 (7) その他
- (1) 原著：次の様式とする。
1. 原稿は、A4版用紙を用い、ワードプロセッサにて白紙1枚に比較的大きなフォントの読み易い文字で和文の場合20字×20行（マージンを大きくとる）、英文ではダブルスペースで印字する。和文中の外国語言語は欧文フォントを使用し、外来語、植物学名、外国人名、および外国地名などの日本語化した語はカタカナ表記（全角）を使用する。和文、英文ともに頻用される語は略号を用いても良いがなるべく少なくする。略号は初出に正式な語を記し、続けて（略号）を記載する。
 2. 原稿は、A4版用紙25枚以内とし、正1部、副2部、計3部を提出する。但し、副については本文、文献、抄録、図表に限りコピーで良いが、写真は正原稿と同じものとする。
 3. 原稿の記述は、和文の場合、表題、欄外見出し（簡潔表題）、著者氏名、所属、連絡先住所、電話番号、FAX番号、要旨（500字以内）、索引用語（和文5語以内）、本文（緒言、方法、結果、考察、結論）、文献、英文表題、ローマ字著者名、英文所属、英文要旨（ダブルスペース300語以内）、Key Words（5語以内）、の順とする。英文の原稿も原則として上記に準ずるが、簡潔表題（running title）は40文字以内とし、和文要旨、和文キーワードなどは不要。
 4. 図（写真を含む）と表は別紙とし、図1あるいは表1の様に番号をつける。原稿には図表の挿入箇所を欄外に朱記する。図表の原稿はそのまま印刷出来る様に白紙に黒インクまたは印画紙に焼き付けた鮮明なものにする。またそれらの大きさは、刷り上りで1/4頁を原則とする。写真は裏面に筆頭者氏名、番号、上下を記入する。図表の説明は和文の場合、日本語、英語のどちらも可であるが、英語を選択した場合、表は順にTable 1、Table 2、とし、図（写真）は順にFig 1、Fig 2、と記載する。カラー印刷、またはトレーシングを必要とする場合は実費を徴収する。
 5. 数字は算用数字を用い、計量単位はSI単位を原則とする（例 mg, g, kg, mg/dl, ml, l, mm, cm, m, cm², °C など）。
 6. 文献
 - 1) 文献は本文中に引用番号順に配列し、論文の最後に文献としてまとめる。和文、英文ともに「印刷中」あるいは“in press”は文献として記載するが、私信などは本文中あるいは脚注に記載するにとどめる。
 - 2) 文献は次の形式による。著者名、論文表題、雑誌名、巻、頁（始めと終わりの頁）、発行年（西暦年号）。
 - 3) 雑誌名の略号はIndex Medicusを参考とし、和文雑誌名は略記しない。
 - 4) 著者名は、日本人は姓と名、外国人は姓と名（頭文字）とする。
 - 5) 単行本の引用には著者または編集者、書名、出版社名とその都市名、引用頁、発行年を記入する。
 - 6) 著者名、編者名が4名以上の場合は最初の3名を書き、他は、他、またet alとする。
- 例1) 酒井昇, 中丸裕爾, 栗原秀雄, 他：甲状腺嚢胞に対するエタノール硬化療法を試み、耳鼻と臨床44：12-15, 1998.
- 例2) 清水潤, 西山和利, 武田浩一, 他：筋生検所見でtype II atrophy を認めた進行性半側萎縮性の1例（抄）臨床神経学 31：93, 1991.
- 例3) Sandman K and Reeve JN：Origin of the eukaryotic nucleus. Science 280：501, 1998.
- 例4) Kerker N, Hadzic N, Davies ET, et al：De-novo autoimmune hepatitis after liver transplantation. Lancet 351：409-413, 1998.
- 例5) 大澤美貴雄：視覚刺激による事象関連電位（ERP）、臨床誘発電位ハンドブック。黒岩義之、菌生雅弘（編）、中外医学社、東京、pp210-213, 1998.
- 例6) Tanaka H, Hodumi A, Iwai T, et al：Evaluation of ERPs electrical field distribution in cortical and subcortical dementia. in “Brain Topography Today”. ed by Koga Y, Nagata K, Hirata K. Elsevier Science BV, Amsterdam, pp544-551, 1998.
- (2) 症例報告
 - 1) 書式は原著に準ずる。但し、要旨は300字以内、索引用語は3語以内とする。
 - 2) 原稿の長さはA4版用紙10枚以内とする。
 - (3) 短報
 - 1) 独創的な研究、工夫、仮説などを内容とする。
 - 2) 書式は原著に準ずる。但し要旨は不要とし、索引用語は1語とする。
 - 3) 原稿の長さはA4版用紙4枚以内とする。
 - (4) 総説
 原則として編集委員長からの依頼により投稿されるものとし、A4版用紙20枚以内、その他は原著に準ずる。
 - (5) 通信
 必ずしも学術的な内容に限らず、広く会員の医療活動に関するものとする。
 - (6) 学位申請論文
 「学位申請論文の執筆投稿指針」を参照する。
 - (7) その他
 編集委員会が認めたものとする。
- V. 備考
1. 投稿にあたっては、人権を損なう恐れのないように配慮するのみならず、実験動物の論文においても、動物の維持・管理や疼痛の緩和などに配慮し、研究計画が研究実施機関の倫理委員会や動物実験委員会等によって承認された研究であることを明記する。
 2. 論文掲載が決定した後、最終原稿を収録したフロッピーディスク（3.5インチ、TXT形式で保存、ソフトは指定しないが使用機器名、ソフト名を明記する）を提出する。
 3. 著者校正は初校のみとする。校正は誤植、組版の誤りを訂正することにとどめ、内容を変えないこと。
 4. 掲載原稿、フロッピーディスクは返却しない。
 5. 刷り上り1頁は和文原稿用紙（20字×20行）5枚分を目安とする。
 6. 掲載料は、次の基準による。
 - 1) 別刷は30部まで無料とし、それ以上は実費とする。
 - 2) 依頼された総説は無料とする。
 - 3) 特別掲載については別に定める。

Originals

- Skipping Breakfast is Associated with Poor Vegetable Intake Among College Students in Japan Hiroko Fujii et al... (47)
- Bleeding from Cochlear Vessels Induced by Bacteria Endotoxin into the Middle Ear Noriyuki Nakajima... (55)
- Selection of Type of Surgery for Rhegmatogenous Retinal Detachment Tatsunri Ito et al... (63)
- The Relationship between Free-radical and Prognosis of Sudden Deafness Shigenori Ode... (69)
- Preventive Measures for Inadvertent Errors During Multiple-choice Question Examinations Masahito Hitosugi et al... (77)
- Long-term Results of Vitrectomy for Untreated Proliferative Diabetic Retinopathy : Comparison with Treated Group Masayuki Asai et al... (83)
- Factors Relating to Chronic Kidney Disease in Health Checkup Participants ... Eri Ohno et al... (89)
- Eosinophils Contained in the Nasal Mucosae of Nasal Allergy Patients : Observation Through Microwave Fixation Takashi Hirose... (97)
- Englargement of Antrochoanal Polyps and Density of Lymphatic Vessels Yoko Ikeda... (103)
- Study on the Duration of Placement of Tympanostomy Tubes for Treatment of Otitis Media with Effusion in Children Shintaro Yamaguchi... (111)

Case Reports

- A Case of Pulmonary Benign Metastasizing Leiomyoma Occurring after Uterine Myomectomy Yasutsugu Fukushima et al... (119)
- Lennox-Gastaut Syndrome Associated with Unilateral Hemispheric Porencephaly George Imataka et al... (125)
- Image Analysis with the Brain Easy Analysis Tool (BEAT) Method in Cases of Encephalomalacia Following Shaken Baby Syndrome George Imataka et al... (129)
- Four Cases with Severe Retinal Damage after Removal of Inner Limiting Membrane Using Indocyanine Green Tetsuya Mutoh et al... (133)

Short Communication

- Evaluation of Chargaff's Parity Rules Using Simulation Analysis.....Yoshifumi Ebara et al... (139)

Proceedings

- Abstracts of the 37 th Annual Meeting of the Dokkyo Medical Society (143)